



NO 311 / 2023

安全を第一に、
楽しく！
できる時に
できることを！

contents

- ★会費納入 & 寄付のお願い
- ★令和5年度総会のお知らせ
(6月17日:土曜日)
..... 2
- ★4月例会報告
「ゆとりの森」4月23日:北田
..... 3
- ★里山部会報告 : 岩田
- ★クラフト部会報告:竹原
..... 4
- ★絵下山自然観察会参加:坂田
- ★倶楽部帽子の販売
..... 5
- 《森づくり啓発シリーズ》
- ★後進へ技術伝承
簡易製材機の講習会:竹原
..... 6
- ★樹木いきいき講座その18:藤原
- ★今月のひと枝:オヤブジラミ
..... 7
- ★6月・各部の活動案内他
..... 8



「ゆとりの森」遊歩道山頂にて。チェーンソーを勉強中の徳永さん。例会報告はP3にて。

私たちが 森づくりを応援しています。

- ◆株式会社ニシナ屋珈琲 ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社東和テクノロジー ◆こだまクリニック
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり
- ◆イオンスタイル広島府中・マックスバリュウ西風新都店
(イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン)

《ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略》



もりメイト倶楽部
HIROSHIMA

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり** : 健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く** : 森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森から学ぶ** : 人と森との関わりを学びます。
- 森の恵みを伝える** : 恵みを利活用し、拡げる活動。

例会

倶楽部のメイン行事(原則第4日曜日)
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は1997年から活動している団体です。
広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています!

広島市民賞、ひろしま県民活動県知事賞、広島ユネスコ活動奨励賞、
全国林業普及協会会長賞など受賞歴多数。

会費納入及びご寄付のお願い！

私たちの活動は1997年に始まり、今年度27年目が始まりました。永く活躍を続けてきた評価として、名誉ある「広島市民賞」を受賞いたしました。水や酸素を育む「命の森」を守るために積極的に森の手入れを中心に、市民の森づくり活動の後押しを行い、森林保全の重要性を多くの市民に啓発しています。こういった多岐にわたる森林保全活動の継続には会費やご寄付が不可欠です。どうか一緒に次世代に向かいご支援をいただければ幸いです。

— 令和5年度総会開催のお知らせ —

【日時】 令和5年6月17日(土)14時～16時

【場所】 幟町会館2階(中区八丁堀3-2) バス停京口門中央の北側すぐ。

- 【議事】 (1) 第1号議案令和4年度事業報告
(2) 第2号議案令和4年度収支決算報告
(3) 第3号議案令和5年度事業計画(案)
(4) 第4号議案令和5年度事業予算(案)
(5) 第5号議案役員改正

役員の大半は仕事を持つ現役にも拘らず、忙しい合間に多くの時間を費やして皆さんの活動を支えています。骨太の組織づくりには役員同士がしっかり協議できる時間が必須です。毎月会報印刷の後、閉館間近まで「近々の活動や課題について」会議をしますが時間が足りないのが現状です。通常の活動計画に加え、総会開催についても資料作りから印刷、多くの正会員への発送と、形を整える労力は膨大です。私たちは後継者が疲弊しないようなシステムを少しずつ構築したいと考えています。

そこで総会のあり様も見直し、正会員とは「メインの例会活動や積極的に組織の運営に関わる会員」と位置づけ、総会の資料と委任状はメールや封書で該当する方に送付します。永続的に運営するためにご理解とご協力をお願い致します。

※総会出席に関わらず17時から懇親会を開催します。古参も中堅も新会員も、みんなそろってざっくばらんに“のみメイト”しましょう。忙しくふだん活動に参加出来なかった方も是非ぜひこの機会にご参加を。

特に新入会員のみなさん大歓迎！！ご参加お待ちしております。

※ 飲み放題食べ放題：会費4,000以内

※ 申し込み：事務局 ☎090-6419-7531

メール info@morimate-ch.com (メールか電話で連絡を！)

※ 締め切り：6月9日(金)



～7月例会は23日(日)狐原山の草刈りを予定しています～

夏の暑い時なので、集合は8時。作業は完了すれば午前中で終了予定です。

当日は地元の皆さまのご厚意によっておむすびと七夕汁が用意されています



美しい木々の芽吹きを背景に。作業を終えて、おつかれさま～！



オーナーの沖野さん。

当日は、コバノミツバツツジが満開。天気も良く、ボランティア日和の中、展望台周辺斜面の景観整備を行いました。作業は4班の編成で、主に、枯れた松やコナラ、倒れたままになっている松の伐採、ソヨゴやヒサカキの除伐を行いました。

特にA班D班は急斜面での作業で、面積も広く結構なハードワークでした。B班C班は、雑木の除伐をメインに行いましたが、前回やり残した展望台までの遊歩道周辺の棚積みを、綺麗に積みなおしました。さらに今回は、各班に新入会員を配置、交代で一人一回はチェーンソーの体験ができるように指導も併せて行い、振り返りのミーティングでは、「今度は玉切りではなく木を倒してみたい」と、頼もしい発言も聞かれました。ただ残念なことに、ベテランのひとりが、急斜面で足場の確保には充分注意していたにもかかわらず、伐倒中に足を滑らせて落ちるというヒヤリハットがおきました。咄嗟にロックをかけ事なきを得ましたが、ロープで身体の保持をすべきであったと反省。また、他にも、かかり木となった枯れ枝が落下したり、伐倒方向にうまく倒れずといったヒヤリハットが報告。安全監視員のさらなる責務の大切さなども含め、検証を重ね次の機会に教訓を活かしていきたいと思っています。

昼食は、オーナーの沖野さんのご厚意により、おむすび、猪汁、焼きそば、焼き肉(猪肉)と豪華メニューが揃いました。料理を担当した木原さん、砂原さんの奥さま、北田正子さんに感謝します。皆が、思い思いの場所でくつろぎながら楽しそうに食べる姿にホッとひと息です。

最後に、現地を見られ「大変見晴らしが良くなりました」と、沖野さんから感謝の言葉をいただきました。美しい緑に囲まれた「ゆとりの森」は、誰でもが自然を体験し集える場所として、沖野さんが長年の歳月をかけて、コツコツと切り拓いて創ってこられた場所です。「北広島町 南方 ゆとりの森」で検索してみてください。

最後に、現地を見られ「大変見晴らしが良くなりました」と、沖野さんから感謝の言葉をいただきました。美しい緑に囲まれた「ゆとりの森」は、誰でもが自然を体験し集える場所として、沖野さんが長年の歳月をかけて、コツコツと切り拓いて創ってこられた場所です。「北広島町 南方 ゆとりの森」で検索してみてください。



すがすがしい朝のミーティング。伝達事項をしっかりと共有！



遊歩道看板には沖野さん、倶楽部の名前が。



見守られながら玉切りの指導を受ける広瀬さん。



頼もしい新入会員のみなさん。振り返りミーティングにて



イヤマフも忘れないうで。コナラを倒す関東さん



ロープワークを学ぶ中村さん



広島方面から白木街道37号線を北上してスクウスクウの森に向かう途中、

みまさか川三篠川の対岸を跨ぐ様に、多くの鯉が気持ち良さそうに泳いでいました。この鯉のぼり、この時期限定でこちらにお住いの倶楽部のメンバー山田隆康さん(4班)有志がされているとうかがいました。

今回の主な作業は、倉庫や四阿^{あすまや}近辺にあるナラ枯れ病にかかったアベマキ・シラカシの伐倒、薪割り準備、雑木整理・草刈りを行いました。(参加者は14名)。

伐倒は3月に引き続いて行うもの

で、前回の反省から、見勢井顧問・富田・佐藤・本廣・高橋の5名で伐倒班を作り、4月例会でのヒヤリハット報告・対策も立てながらの朝礼となりました。

伐倒班は午前中に、チルホール及びロープを駆使し予定の2本の木を無事倒すことが出来ました。午後からは伐倒した木の処理にかかりました。時期は未定ですが、薪割り機で薪を作り、その後、単管パイプで薪棚を作製し棚積み作業も行うという、薪割り作業の一連の流れを経験できるよう計画する予定です。参加お待ちしております。

午後の作業開始前、今後の里山部会の運営について話し合いを持ちました。責任者を月替わりで行う事を

事務局から提案があり、世話人として私が引き続き、事務手続き、地域との調整等を行います。今年度試験的に、毎月の里山部会をどのように進めていくかといった運営側をいろいろな方に経験してもらい、運営側の人材育成を行う事になりました。ご存知の方はおられると思いますが、私は4月からクラフト部会長に就任しました(総会で正式発表)。併せて里山部会も世話人として関わらせていただきますので、これまで通り相変わらずのご支援ご指導・叱咤激励をお願い致します。6月の里山部会は、6月10日・11日とグリーンフェアが広島ゲートパークで開催されるため休会とさせていただきます。



伐倒中の佐藤さん、安全監視員の富田さん



薪割りの準備 三好さんと砂原さん



中村さん初めての草刈り機



材料の研磨中。富安さんと磯貝さん

5月のクラフト部会は、雨の日が多くテントを張りながら、狭い場所での作業でした。作業は、先月と同様6月の春のグリーンフェアに向けて6種類の木工クラフトの材料づくりを行いました。また6月イベントに使われる道具(マジック、動眼、焼き鏝、竹串等)の購入も始めました。春のグリーンフェアは、新しく出来た元市民球場跡のひろしまゲートパーク内で6月10日、11日にワークショップを行います。倶楽部の存在を市民に伝えるよい機会



丸太輪切り飾り

会となりますので、テント内を良い印象にしたいと思います。

お手伝いしていただく指導員の方々には、お世話になりますがよろしくお願いたします。今月の部会参加者は、簡易製材機取扱講習会を含めて延べ29人でした。



絵下山自然観察会に参加して
坂田美和(3班)

みなさんからの投稿おまちしています



絵下山は安芸区矢野町の山です。4月22日(土曜)、見勢井顧問の案内による絵下山自然散策会に参加しました。

晴天のもと、少し霞がかった広島湾の島々を眺めつつ出発。春の植物や動物についての説明をしていただきながら、木漏れ日の山道をゆっくり歩きました。写真を撮り、説明をメモしながら歩くこと2時間。知らなかったことや、初めて目にするものなどもあり、大変有意義な時間となりました。ウラジロの芽の形からシダ類の芽の開き方を知り(お恥ずかしながら知らなかった・・・ってことはゼンマイが大人になるとあなることも・・・)サンヨウアオイの花も見ることができ、ヤブレガサには

この日、安芸南高校の生徒会も取材。「なんて素敵なフォーム」と魅了され・・・。

自宅から近くの山でありながら絵下山に登るのは初めてで、これまで訪れなかったことが悔やまれます。散策会には是非また参加したいと思います。次回はお弁当を持って。



自然観察会にて説明をする見勢井顧問



絵下山からの眺め。絶景!



ウラジロの芽

見勢井追記：安芸区役所からの要請で1昨年11月、昨年5月、今年4月と3回目の実施でした。同じコースでも時期を変えれば色々なことに気づけた観察会でした。10日前に3人で行った下見では1匹のスズメバチにまとりつかれたため、今回はハチノックを持参してもらったけれど、ハチには遭いませんでした。しかしながらこの時期にしては少し早いマムシに遭遇し、ペットボトルに入れてもらい皆さんに観ていただきました。(なお、当日は山本理事長と1班の小迫さんも参加されました)



絵下山(えげさん)は、標高 593m の山。安芸区の豊かな自然スポットの一つで、山頂一帯は絵下山公園として整備されており、広島市内や広島湾の島々を見渡せる展望スポットとして親しまれている。標高 593m の最高地点の北西に標高 568.1m のピークがあり、広島親局送信所の一部および三角点が設置されている。夜景も素晴らしい

もりメイト倶楽部 Hiroshima
の帽子を販売します。

【価格 800円】



倶楽部のロゴ入り帽子を新しく作製しました。アメリカンキャップで後ろはメッシュになっており、涼しくオールシーズン対応です。

もう古くて買い換えたい方、予備に持っておきたい方などすでにお持ちの方も。また、新メンバーとなられた方はこれをかぶれば一目瞭然『倶楽部のなかま』。例会などで販売します。ぜひお買い求め下さい。必要な方はメール等でもお知らせください。



後進へ技術の継承を！！～簡易製材機の使い方:湯来町松波邸にて～

今回の講習会を開催するに至ったいきさつは、11年前に遡ります。森の資源となる間伐材を、きれいに製材して利用できないかとの思いがあり、「セブン・イレブン記念財団」から助成金をいただき、簡易製材機を購入。これまでクラフト部会が活用してきました。しかし、当初より機械の組み立て運転に関わってきた人が、『高齢化して技術の継承を早くしておかないと使えなくなる』との思いから、若くて興味ある人にお越し実施することになりました。



機械の説明をする磯貝さん



集積してある丸太を製材機に載せる



製材中。今から板へと変わる

講習参加者は6名(平均58歳)と講師、補助員、オブザーバーは松波さんも加え8名となりました。前以って運転操作の準備もせずぶっつけ本番の講習となりました。

湯来町麦谷の松波邸に設置している簡易製材機は、カナダ産の機械でブレード(帯鋸)が水平回転して切削し、丸太径最大69cm、長さ360cmまで製材することができます。講習をスタートしてまもなく、取り付けてあったブ

レードのトラブル(切削中にブレードが外れる)があり、切れが悪くなっているブレードを交換することにしました。取り付けにはブレードを回転させる車輪の軸を左右に動かし、ブレードがぶれないようにする技術が必要ですが、講師も手こずり、参加者と一緒になって原因追求し、稼働することができ、技術の難しさを習得するうえで効果的でありました。ぶっつけ本番が功をなしました。

《実施した内容》

- ① 製材機で製材した材について、クラフト部会として使用している事例を紹介
- ② 製材機の各部分の機能と取り扱い方法の説明(油抜き方、水出し方、エンジン始動等)
- ③ 丸太のセットの仕方(レール台の固定方法、角材および板材によって変える)
- ④ 製材する寸法の出し方(3cm～)
- ⑤ 製材機運転と切削スピード感覚の練習(早すぎると切削が波を打つ)
- ⑥ 製材機のブレード交換の手順



磯貝さん(元クラフト部会長)

【参加者の感想】 印象に残ったことは以下の3点です。①エンジン始動がチョークのタイミングなどによっては四苦八苦すること。②製材機たいらのスピードを上げすぎると、製材の板が平にならず不完全なものになるリスクがあるので、あせらず、ゆっくり製材レバーを押し進めるべきであること。③集積してある丸太を製材機のライン上に載せるために複数人で丸太トビなどを使って人力でやらざるを得ないが、非常に重たく複数人がかった。⇒以上のことなどから、いずれもゆっくりあせらず慎重に進め、今後もよく学んで、経験を積む必要があると思いました。講師の磯貝さん、竹原さん、終日、丁寧にご指導くださりありがとうございました！ 土谷 正樹

以上でありましたが、当初予定した10項目は実施出来なかったけれど、一番難しいブレード交換に時間をかけて体験したことが今回の講習の大きな成果と思われます。第2回の講習は、7月2日(日)に同じメンバーで実施し、主に刃研ぎ機の使い方、アサリの機械の使い方及び今回実施出来なかった内容について実施いたします。

5月14(日):顧問:竹原弘記

- ・講習受講者:吉村、徳永、平尾、土谷、秋武、佐々木
- ・講習講師及びオブザーバー:磯貝、竹原、松岡、末本、原島、山本、原田



講習受講者と。手前後ろは松波さん



製材機 径69、長さ360cmまで製材可能



樹木いきいき講座 <その18> 3班 藤原満男

くだもの植樹奮闘記+ゴーヤの巻

東側に黄色い実のゴールデンキングと云うキーウィフルーツを植えている。雌雄異株で雄株の開花が早すぎて去年は6つしか実を付けなかった。雄株のそばにエアコンの室外機を付け強剪定をした為、今年は雄株の開花が遅く受粉がうまくいかずか気をもんでいる。

その向こうに5m余(根周り141センチ)のスモモがあったが、実を付けないし隣にはみ出しているの思い切って伐採した。近縁のブルーメの木があれば結実するというがダメだった。

北側に以前からあったナシに実を付けたいと思い、授粉樹としてラ・フランス(西洋梨)を植えたのですが、これも開花時期がずれて上手

くいかない。

本命ではない方のラ・フランスは日本では結実しないと後で知った。

居間の西側のゴーヤが毎年夏の暑い陽射しを遮ってくれている。授粉や病虫害の心配がなく、葉の黄変や枯れが遅く緑のカーテンが長く続く。ニガウリの名に違わずかなり苦い。ビタミンCが豊富でタラの芽と同じく天ぷらにすると美味。オレンジ色に熟した皮と種のまわりの真っ赤で甘いブヨブヨなものとバナナと牛乳でジュースにするとマンゴー



ユースのようになると聞いて飲んでいるがそうでもない。人によって基準は違う。



← 2年草

《ゴーヤ》
特有の苦味とシャッキリ食感。
夏を乗り切るスタミナ野菜として、また真夏の日差しを遮るためのグリーンカーテンとしても活躍。ゴーヤチャンプルのような炒めものだけでなく、本文にもあるように天ぷらや揚げもの、サラダにしても美味。

今更の枝 原田 澄



オヤブジラミ：雄蕨風
＜セリ科・ヤブジラミ属＞

野原や道端に普通に生える2年草。全草に毛があり茎の高さは30~70cmで紫色をおびる。葉は4~10cm、細かく切れ込み薄い。3~5月頃、枝先に白い小さな花を付ける。果実は細長い丸みのある楕円形で長さ4~6cm。名は、蕨に生え、果実の形がシラミに似ていて、おまけに体にとりつくところから。近縁種のヤブジラミは、オヤブジラミの花や果実がまばらに付くのに対し、しっかりと密に付く。果実も小さめで花期も遅い。・・・▼春から初夏へ。山々の木々も緑深まり力強い。近所の牧場へと足を延ばす。道すがら目に留まったのは、すっと伸ばした枝と実が可愛いオヤブジラミ。何とも気の毒な名だが色もオシャレ。▼G7ひろしまサミットが終わった。首相らが困った円卓は湯来の家具メーカー「丸二木工」の作品。さらにデザートには「サゴタニ牛乳」が。二つもの地場産業の登場に心が躍る。そして、季節は巡り、湯来はまもなく蛍の季節を迎える ~佐伯区湯来町 2023・5月~



—6月— 活動の予定

各部会はどなたでも自由に参加できます。ぜひ、いろいろな活動をご体験ください



★6月10(土)・11日
 ★旧広島市民球場跡地
 ★10:00~17:00
 ★もりメイト倶楽部は、
 10日、11日共
 《木エクラフトワーク
 ショップ》にて参加し
 ます。ご家族そろって
 お出で下さい。



～自家木工・クラフト製作；
 自由に参加お待ちしております～
 ■6月は3日・24日の土曜日
 山本町鹿ヶ谷基地で活動します。
 10、11日は春のグリーンフェア
 ■連絡先：岩田
 080-5751-3798



6月の里山部会は
 「春のグリーンフ
 ェア」と重なるた
 め休会とします。
 7月は予定通り行
 います。



■日時 6月24日(土)11時～
 ■場所 松ヶ原もりメイトキッズフィールド
 ※次回もりメイトキッズにて行う昆虫観察会の下見。
 ■7月3日18時～ 袋町交流プラザにて
 第2回もりメイトキッズ【7月30日】打ち合わせ
 ■連絡先：佐々木
mamakin0404@yahoo.co.jp



7月号の会報発送作業は下記の通り、実施します。
 どなたでも、都合のつく方をご参加ください。
 ■日時：6月28日(水)18:00～
 ■場所：袋町市民交流プラザ3F



会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用した木エクラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

会員の種類

【正会員】：倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。
 【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

年会費

【個人会費】：3,000円
 【企業会費】：50,000円

お申込み方法

下記まで電話、又はメールで
 【電話】090-6419-7531
 【Email】info@morimate-ch.com

会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3283383
 【ゆうちょ銀行】15170-18029291
 《口座名》：トクヒ) モリメイトクラブヒロシマ